

※患者様用説明書

「研究課題名：日本国内で流行するムンプスウイルスの分子系統学的解析」へのご協力をお願い

国立感染症研究所ウイルス第三部第三室（研究責任者：室長・木所稔）では、全国23の地方衛生研究所および医療機関との共同研究で、国内で流行しているおたふくかぜウイルス（ムンプスウイルス）に関する疫学研究（研究課題名：日本国内で流行するムンプスウイルスの分子系統学的解析、研究期間：平成30年（2018年）4月1日から平成33年（2021年）3月31日）を行っています。

この研究の目的は、国内で流行するムンプスウイルスの種類（遺伝子型）とその変遷のデータを集積することで、将来おたふくかぜワクチンの定期接種が開始された際に、ワクチンの効果を評価するための基礎データとすることにあります。

本研究の方法は、本来おたふくかぜの診断のために患者様から提供頂いた検体（だ液、咽頭ぬぐい液、もしくは髄液）を地方衛生研究所で診断した結果得られたムンプスウイルスの遺伝子情報を、再利用して国立感染症研究所に集約して解析するものです。あるいは、検体そのもの、もしくは、診断のため検体から採取されたウイルスを、医療機関から直接国立感染症研究所に送付していただき、国立感染症研究所で解析します。

この研究では、ウイルスの遺伝情報と共に、検体情報（検体の種類、患者様の性別、年齢、発症日、検体採取日、臨床症状、ワクチン接種歴）も国立感染症研究所に提供していただきます。その際、個人が特定できないように、患者様の情報は医療機関や地方衛生研究所で匿名化された後に国立感染症研究所に提供されます。また、患者様の情報は、本研究責任者の責任の下、国が定めた倫理指針に従って厳重に保護、保管され、本研究の担当者（本研究課題の責任者および研究分担者）以外は利用いたしません。従いまして、患者様の個人情報（プライバシー）は保護されます。また、遺伝情報を調べる対象はムンプスウイルスのみであり、患者様ご自身の遺伝情報を調べることはございません。

この研究のために情報（ウイルスの遺伝情報、および検体情報）を提供するかどうかは、患者様の自由意思です。提供しなかったことにより不利益を被ることは一切ありません。また、同意後でも撤回可能です。その場合には、患者様本人、もしくはその代理人の方が下記の連絡先にお申し出ください。

研究の方法及び計画の内容については、患者様のご希望があれば、他の提供者や本研究の独創性確保に支障がない範囲で情報提供いたします。下記の連絡先まで、お知らせ下さい。

※本研究に関する問い合わせ先

研究責任者：国立感染症研究所 ウイルス第三部第三室
室長・木所 稔（きどころ みのる）

TEL： 042-561-0771（内線 3530）

FAX： 042-567-5631

E-mail： kidokoro@nih.go.jp